

## 「施策」総括票

施策展開	1-(4)-ウ	文化活動を支える基盤の形成
施策	①芸術文化活動拠点の活用・充実	49頁
対応する 主な課題	<p>○県内には、伝統芸能の保有者やアーティストが活躍できる場が少なく、その力が生かされていなど、芸術文化創造活動を支える仕組みが十分とはいえない状況にある。</p> <p>○国立劇場おきなわ、県立博物館・美術館等については、県民等が利活用しやすい環境づくりが課題となっている。また、県立郷土劇場の閉館に伴い、沖縄の伝統芸能を発信する新たな拠点が求められている。</p>	
関係部等	文化観光スポーツ部	

### I 主な取組の推進状況 (Plan・Do)

(単位:千円)

平成24年度				
主な取組		決算見込額	推進状況	活動概要
1	伝統芸能公演支援事業	16,000	順調	○国立劇場おきなわ等と連携して若手実演家公演等を13回実施した。(1)
2	博物館・美術館の管理運営	406,761	順調	○博物館・美術館において、常設展に加え、復帰40周年記念企画展等15本(県企画11本、指定管理者企画4本)を開催。計画値を上回る48万人超の来館者があった。(2)
3	文化発信交流拠点の整備	13,823	順調	○「国立劇場おきなわ」を中心としたエリア一帯を『おきなわ文化芸術・結の都』(仮称)と捉え、文化発信交流拠点を整備することを内容とする基本構想を策定した。(3)

様式2(施策)

II 成果指標の達成状況 (Do)

(1) 成果指標

成果指標名		基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
1	県立博物館・美術館の入場者数	452,502人 (22年)	481,373人 (24年)	487,000人	28,871人	-
	状況説明	企画展等の成功(特に指定管理者企画分)などにより、平成27年度の目標値(475,500人)を平成24年度(実績:481,373人)で達成した。				
成果指標名		基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
2	県が支援した文化芸術関連イベントの来場者数	149,527人 (23年度)	344,191人 (24年度)	174,000人	194,664人	-
	状況説明	平成24年度は復帰40周年と銘打ったイベントが多く開催されたことにより、一時的に改善幅が大きくなったが、平成25年度以降も目標値達成に向けて、引き続き、取り組む。				

(2) 参考データ

参考データ名	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
伝統芸能公演における平均来場者数	193人 (22年度)	199人 (23年度)	211人 (24年度)	↗	-

III 内部要因の分析 (Check)

<p><b>○博物館・美術館の管理運営</b>          ・更なる来館者数増加に向けて、既存資料の展示方法(レイアウトや資料説明)や新たな資料の収集・展示、企画展の開催等について検討するなど、常に県民や観光客を惹きつける内容とすることが求められることに留意する必要がある。</p> <p><b>○文化発信交流拠点の整備</b>          ・「国立劇場おきなわ」を中心としたエリア一帯を文化発信拠点として整備するにあたり、土地利用等の課題があり、関係者が複数(国立劇場おきなわ、那覇港管理組合、浦添市等)にわたることから、関係者間の連絡を密にするなど、調整を図る必要がある。</p>
--

## 様式2(施策)

### IV 外部環境の分析 (Check)

#### ○伝統芸能公演支援事業

・伝統芸能公演においては、50代以上の来場者が全体の7割を占めており、若年者の来場者が伸びていない。

#### ○博物館・美術館の管理運営

・来館者数増加のためには、特に観光客の来館者数が伸び悩んでいることから、指定管理者において、観光客及び県民を呼び込む営業力や情報発信力の強化が求められる。

### V 施策の推進戦略案 (Action)

#### ○伝統芸能公演支援事業

・若年層の集客を拡大させるような魅力ある演目の作り込み等のため、出演団体と文化振興会の協働を促進するとともに県も積極的に周知・広報を行うなど、連携して取り組む。

#### ○博物館・美術館の管理運営

・継続的に来館者数を確保するため、調査研究による新たな資料の収集・展示を行うと共に、外部専門家の意見を取り入れ、展示方法の工夫等観覧者を惹きつける展示会となるような取り組みを検討する。

・指定管理者において、情報発信力の強化に向け、SNS等最先端の情報ツールを活用するほか、観光関係者と連携し、旅行コースに組み込まれるよう取組を強化するよう調整を行う。

#### ○文化発信交流拠点の整備

・文化発信交流拠点の整備基本計画を策定するうえでの土地利用等の課題解決のため、基本計画策定と並行して関係者との調整を進め、連携して取り組んでいく。